

Risk Premiums in Higher-Order Moments and Stock Return Predictability

一橋大学大学院・国際企業戦略研究科 博士後期課程 佐々木 洋 (Hiroshi Sasaki)

Graduate School of International Corporate Strategy

Hitotsubashi University

概要

Bansal and Yaron[2004] の Long Run Risk モデルを拡張し、一般均衡市場において危険資産リターンの Variance や Skewness など高次モーメントに関するリスクプレミアムを考察する。Consumption Growth Process が確率ボラティリティとジャンプを同時に含むケースを対象とし、Epstein-Zin 型 Recursive Utility を前提とした Asset Pricing Equation から確率ボラティリティファクター、ジャンプファクター、各々に由来する Price of Risk を求めると同時に、それらの Price of Risk と Variance Risk Premium, Skewness Risk Premium などとの間の関連性を具体的に検討する。

また更に、Variance Risk Premium, Skewness Risk Premium と、Aggregate Stock Market Index (S & P500 Index) リターンに関する超過リスクプレミアムとの間の関係を理論的に導出し、上記 2 つの高次モーメントリスクプレミアムが持つ、将来の Aggregate Stock Market Index (S & P500 Index) リターンに対する Predictability に関しても実証的に検証する。

以上